

# 土湯温泉

National  
Parks  
of Japan



## 荒川の清流と共に歴史を育んできた温泉郷



土湯温泉は福島市の西部に位置し、東吾妻山に源流を持つ荒川の谷あい  
に沿って作られた温泉地です。開湯は約1,200年前と伝えられ、単純温泉、  
炭酸水素塩泉、硫黄泉など泉質が豊富で、神経痛や疲労回復、肌の保湿  
などに効果があるとされています。

古くから湯治場として栄えるとともに、福島城下町から会津方面へ向か  
う会津街道(土湯街道)の宿場としても多くの人々に親しまれてきました。  
また、日本三大こけしのひとつ「土湯こけし」が生まれた土地としても知  
られています。

画像(上)は、1933年(昭和8年)の土湯温泉の街並みです。その写真から  
も荒川に沿って作られた街であることが見て取れます。その当時の景観  
は現在の土湯温泉でも感じることができ、磐梯朝日国立公園内の歴史あ  
る温泉地としての風情そして自然の豊かさが今も息づいています。

出典:土湯温泉観光協会 [画像(上)] 撮影年代=1933年(昭和8年)



特別保護地区 特別地域 普通地域 - - JR 〃 私鉄 〃 高速道路 〃 観光道路